

第 43 回理事会議事録

開催日時 2006 年 4 月 26 日（水） 13 時 10 分～16 時 30 分

開催場所 大崎第 2 区民集会所 第 2 集会室

出席者 理事 村瀬 禎男、新家 彦司、黒山 昭宣、小泉 鐵夫、石田 紘三、萩原 貞雄、以上 6 名
監事 平田健二

欠席者 理事 柏木 寛、黒澤 東雄、

開会（13 時 10 分）

1、出席者の確認と議事録署名人の指名

理事長が都合により欠席、理事長代行として、村瀬副理事長が議長を勤めることとした。理事 6 名が出席。議事録署名人に黒山、石田両理事を指名。

2、第 42 回理事会議事録の確認

一部指摘事項を修正の上、意義なしとして承認

3、村瀬副理事長挨拶

NPO 法人が増え続けているが、「NPO 成功の七か条」の記事の紹介があり、下記に要目を引用する。

- 一、はっきりとした使命を
- 二、仲間選びは慎重に
- 三、自前で実態調査を
- 四、ない力は外から
- 五、財源は多様に
- 六、活動は楽しく
- 七、小さくても成果を

4、審議事項

（1）(株)東洋溶材 賛助会員入会の件

黒山専務理事より説明があり、低温溶接棒の製造販売及び銅パイプ曲げ加工、金属加工を得意とする同社の賛助会員の入会が承認された。入会金、会費収入の収支は E&C 事業部会扱いとし、期末の扱いは従来どおりとする。

（2）業務請負（東洋溶材社）の件（当日、提案があり、請負業務計画書を配布）

黒山専務理事より説明があり、東洋溶材社が特許を有する銅管口ウ付け酸化防止剤(商品名: トーヨークリーンカップー)の拡販を支援する案件につき、空調設備メーカー、海外市場に対する人脈紹介等で SEF 会員が活用できるとして、取り組むこととした。中小企業支援事業部会扱いとする。

(3) 伊澤敏彦氏 正会員入会の件(当日、提案があり、入会申込書他の資料配布)
村瀬副理事長より説明があり、伊澤 敏彦氏の入会審査が行われ、全員異議なしとして承認された。

(4) KEP-4 工事計装SV業務の件(当日、提案があり、請負業務計画書を配布)
新家副理事長より業務計画の説明があった。本件は MPE より JSR(株)鹿島工場に新規に建設されるKEP - 4プラントの計装SV業務の受託であり、期間は4月より6月頃。近々、MPEより業務委託確認書を受領の見込み。労災保険に MPE が加入予定。本件取り組むこととした。

(5) H17 年度事業報告案及び収支報告
事務局より事前に配布のH 1 7 年度事業報告(案)について説明あり、一部語句修正の上、承認された。同じく平成 1 7 年度収支報告(案)について説明があり、承認された。H18 年度への繰越金は1、385、116 円である。
事務局は事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録を次回の理事会に提出することとした。

(6) H18 年度事業計画案及び H18 年度予算案
事務局より事前に配布のH 1 8 年度事業報告(案)について説明あり、一部語句修正の上、承認された。

H 1 8 年度の活動計画及びH 1 8 年度の予算(案)について、業務受託事業部会、中小企業支援事業部会、SEF サロン、ホームページ委員会、各種団体事務支援部会、コミュニケーション研究会、E&C 事業部会の担当理事が説明した。

業務受託事業部会の「事業部門共通費」の収入を0円とし、支出を100,000円とすることとした。

H18 年度活動計画のなかで業務受託事業部会では担当理事への業務の負担が過重であり、部会内での負担の分散、あるいは他の事業部会、例えば、中小企業部会との業務、人員の融通による協業の有効性などを検討すべきとの意見が出された。

部会運営については、3月理事会で、平成 18 年度は 17 年度と同じ枠組みで運営する

こととしていた。将来の部会の効率的運営を目指して次回の理事会で部会の一体運営方法について提案願うこととした。また、本テーマにつき、次回総会、連絡会などでの審議につなげることとした。

共通管理費について、事務局が平成 17 年度の項目ごとの実績を説明、了承された。さらに、平成 18 年度の予算案が承認された。

以上の結果、事務局が平成 18 年度予算（案）総括表を説明し、承認された。

主な予算額は次のとおり。

事業収支 収入 12,820,000 円 支出 10,470,000 円 残額 2,350,000 円

残高は共通管理費に組み入れる。

共通管理収支 収入 4,026,316 円 支出 4,026,316 円

支出は次期繰越 975,516 円を含む。

(7) 計装倶楽部 / SEF 業務委託に関する 覚書

黒山専務理事提案どおり、可決された。

(8) SEF / アルコ社(計装倶楽部) 業務委託に関する 覚書

村瀬副理事長の提案どおり、可決された。

(9) SEF / アルコ社 連絡所の業務委託 に関する 覚書

黒山専務理事提案どおり、可決された。

5、報告事項

(1) 登録会員入会申込み (河野氏)

河野 (コウノ) 氏の 入会が報告され、了承された。

なお、登録会員の入会時の手続として下記が確認(第 39 回理事会議事録の再確認)された。

登録会員の推薦者は SEF 正会員とし、理事は承認者とする。また理事は登録会員が活動しようとする事業分野の担当理事でなくてもよい。

理事会では登録会員の入会の報告を行なう。

(2) 渡辺会員会員資格変更

正会員の渡辺氏はご本人の申し出により、正会員から準会員として、活躍して頂くことが了承された。

(3) SEF サロン H17 年度会計報告

担当の村瀬副理事長から SEF サロンの会計報告がなされ、了承された。

(4) 都税免除申請

事務局より平成 18 年 4 月に申請したことが報告され、了承された。

(5) 契約書・覚書 原紙を事務局へ移管

これまで理事が保管していた上記書類を事務局に移管した。

6、次回理事会

5月24日(水)を予定。場所 品川区 品川第二集会所(青物横丁)

閉会 (16時30分)

上記議事の経過と要旨を明確にする為に議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名捺印する。

2006年4月26日

シニアエキスパートフォーラム 第43回理事会

議 長 印

署名人 印

署名人 印